

9月定例会では、平成29年度の各会計決算について、慎重審議を期すため、本特別委員会を設置して、審査を行いました。

審査では、まず総括質問、続いて、各費目について審査を行いました。今回は、総括質問及び一般会計の各費目の審査内容の一部を抜粋してお知らせします。

総括質問

地域の防犯灯について

委員 過疎化等で将来、防犯灯維持が困難となることが想定されるが、維持費などをどう考えるか。

答弁 市内には約6,500基の防犯灯があり、LEDに交換しても約1千万円の経費が毎年かかる。人的負担、財源等今後検討してまいりたい。

交通誘導員の配置について

委員 新庁舎建設工事で工事車両通行にあたって、誘導員は何名配置されているか。

答弁 発注段階で5名を見込

んでいたが、地元説明会での要望もあり、当初17名配置、その後、地元環境保全対策委員会での再調整等を行い、現在は12名である。

委員 増員分の費用は市の負担となる。工事内容を検討し適切な配置をお願いする。

新庁舎周辺道路工事について

委員 旧岡中線の進捗状況は。

答弁 一部地権者と交渉中の所もあるが、北側の拡幅工事は年度内を予定している。

委員 様々な問題があるが、早期の解決をお願いする。

五條市の財政について

委員 五條市の財政的順位は全国的に低い位置にある。全庁的な中・長期の財政計画は。

答弁 組織事業評価を行い、今年度より、事業別予算編成に取り組んでいる。

委員 事業を一つ一つ無駄なく進め、しっかりとした方針で臨んでいただきたい。

職員の採用について

委員 職員の新規採用人数の判断の方法は。

答弁 採用試験委員会で決定するが、原則退職者と同等数を補充するという形である。

委員 効果的で適正な人員配置に努めるようお願いする。

期日前移動投票車について

委員 現在の検討状況は。

答弁 山間部の積雪時の巡回の問題があり導入するという結論には至っていない。

委員 現状を見れば、大塔や西吉野地域の方々に喜んで投票していただけたらと思う。来年の統一地方選挙には間に合うようにしていただきたい。

ブロック塀の撤去補助金について

委員 民間の危険性の高いブロック塀の撤去の補助金は。

答弁 県内で11市が検討を進めており、市でも前向きに検討してまいりたい。

歳出について

委員 「五條市元気なまちづくり交付金」の交付団体数は。

答弁 一般14団体、学生4団体である。

総務費について

委員 ふるさと納税の件数と

答弁 金額、返礼品の数は。

答弁 5,609件、6,235万円、約90品目が登録されている。

委員 目標を定め、市のビジョンを出せるような使い方を願う。

農林業費について

委員 ジビエール五條のPR開発商品の内容は。

答弁 セーム革、精肉、ぎょうざ、カレーを売出中で、肉まん、串カツを開発中である。

委員 市を上げて取り組む事業と思うので、市内飲食店でのオリジナルを増やす展開も必要ではないかと考える。

商工費について

委員 企業立地・雇用促進奨励金の事業内容は。

答弁 市内企業10社に対し、市内在住者を新規雇用し、設備投資する場合、固定資産税の70%を交付するもので、2社15名の新規雇用があった。

委員

買物支援事業のエリアについて、現在の大塔・西吉野永谷地区以外の検討は。

答弁 検証を行ったが、1車両で週4日、予備日2日とい

う形態や現在の委託料では採算がとれず対応は難しいとの結果であった。

委員 五條新町きつねの森フェスの内容は。

答弁 18店舗の模擬店と展示6店、来場者は約千人と報告を受けている。

委員

新町通りを歩くなどのコンセプトを取り入れ、他の観光事業と足並みをそろえる工夫をし、良いイベントにしたい。

教育費について

委員 創意工夫を生かした特色ある学校づくり事業支援金の内容は。

答弁 市内4小学校に補助したもので、ふるさと学習やICT教育などの取組があった。

委員

星のくにの宿泊訓練活用補助金の内容は。

答弁 小学校4年生を対象に一人あたり2千円を補助するもので、平成29年度は5校の実施があり、参加人数に応じて補助している。

委員

今後も継続して、野外活動に星のくにを使っていたきたい。

決算審査特別委員会

平成30年第3回9月定例会及び第1回臨時会の表決結果と議決結果

○=賛成 ●=反対 退=退席 欠=欠席 長=議長

議案名	伊谷賢司	養田全康	平岡清司	牧野雅一	吉田正	窪佳秀	岩本孝	福塚実	山口耕司	吉田雅範	藤富美恵子	大谷龍雄	議決結果
議第45号 職員の退職手当に関する条例等の一部改正について	○	○	長	●	●	○	○	●	○	●	○	●	可決
議第47号 平成30年度五條市一般会計補正予算(第3号)議定について	○	退	長	●	○	○	○	●	○	●	○	●	可決
発議第5号 児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書について	○	○	長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第6号 確かな未来へ向けた健全な財政運営を求める決議について	●	●	長	○	○	●	●	○	●	○	○	○	可決
【第1回 臨時会】 議第52号 工事請負契約の締結について	○	○	長	○	●	○	○	●	○	●	●	●	可決

(以下は、全議員賛成のもと原案のとおり可決・承認・同意した議案)

議案名	議案の概要
専決処分の報告、承認を求めることについて (平成30年度五條市一般会計補正予算(第2号))	五條市不当要求行為等防止条例の施行に伴う五條市不当要求行為等審査会に係る経費及び墓地事業特別会計繰出金の予算措置に特に緊急を要したため、専決処分を行った
専決処分の報告、承認を求めることについて(平成30年度五條市墓地事業特別会計補正予算(第1号))	倒壊の危険度が高い市営墓地のブロック塀撤去等の予算措置に特に緊急を要したため、専決処分を行った
五條市土砂等の埋立て等の規制に関する条例の一部改正について	体積用件の削除、行政代執行に係る規定の追加等を行うため(平成30年10月1日から施行)
平成30年度五條市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)議定について	補正予算額 8,632千円 (療養給付費等交付金返還金の追加)
平成30年度五條市墓地事業特別会計補正予算(第2号)議定について	補正予算額 4,600千円 (委託料、工事請負費の追加)
平成30年度五條市介護保険特別会計補正予算(第1号)議定について	補正予算額 59,545千円 (介護保険財政調整基金積立金・返還金の追加)
平成29年度各会計歳入歳出決算認定について	一般会計、国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、墓地事業特別会計、介護保険特別会計、大塔診療所特別会計、農業集落排水事業特別会計、後期高齢者医療特別会計及び水道事業会計の9会計の平成29年度歳入歳出決算を認定
人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	片山邦彦氏、中永民子氏、山本美智子氏の推薦に同意 (平成31年1月1日から3年間)

児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書

今般、東京都目黒区で両親から虐待を受け女兒が死亡するという痛ましい事件が発生した。このような虐待事案は、近年、急増しており、平成28年度全国の児童相談所に寄せられた児童虐待相談件数は12万件を超え、5年前と比べると倍増している。

こうした事態を重く受け止め、政府は平成28・29年と連続して児童福祉法等を改正し、児童虐待防止対策を強化してきた。しかし、今回の事案は、児童相談所が関与していたにもかかわらず、虐待から救うことができなかった。

虐待から子供の命を守るためには、子供の異変に早期に気づき、虐待の芽を摘むことが何よりも重要であり、そのためには児童相談所のみならず関係機関や民間団体等が協働し、虐待の防止に取り組むことが必要である。

よって政府においては、こうした痛ましい事件が二度と繰り返されないためにも、児童虐待防止対策の更なる強化に向け、下記の事項に取り組むことを強く求める。

記

- 1 平成28年度に政府が策定した「児童相談所強化プラン」を拡充し、市町村における児童虐待防止体制の強化や中核市・特別区への児童相談所の設置も加えた児童虐待防止体制を強化するプランを新たに策定するとともに、地方交付税措置を含めた必要な財源を速やかに講ずること。
- 2 子供の問題を児童相談所に一極集中させている現状を改めること。具体的には、児童相談所と市町村の役割分担を更に明確にするとともに、施設やNPO等民間機関・団体や他の行政機関等との連携を強化して役割分担・協働を加速する「児童相談体制改革」を行うこと。
- 3 児童相談所間および児童相談所と市町村の情報共有については、仮に転居があったとしても、危機感や支援状況が確実かつ迅速に引き継げるよう、引き継ぎの全国共通ルールを定めるとともに、全国からアクセスできるシステムを整備すること。また、児童相談所と警察との情報共有については、必要な情報がタイムリーかつ確実に共有できるようにするとともに、適切かつ効果的に情報共有できるシステムを新たに構築すること。
- 4 全国共通ダイヤル「189」を児童虐待通告に限定し、児童相談所の相談できる窓口につながるまでの間にいまだ半数以上の電話が切れている実態を速やかに検証・分析し、その結果を踏まえ、児童相談所への通告の無料化の検討を含め、運用の改善に努めること。
- 5 保育所や幼稚園・学校と情報共有を図ること。いじめ防止対策と同様、小中学校の校務分掌に虐待対応を位置づけ、対応する組織を明確化するとともに、スクールソーシャルワーカー（SSW）を中心とした学校における虐待対応体制を整備すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年9月26日

五條市議会

確かな未来へ向けた健全な財政運営を求める決議

まちの活性化のための環境整備、魅力あるまちづくり等々、今後市として取り組むべき事業が山積しており、その中でも確かな未来へ向け安心して住み続けたいまちづくり、すなわち「市民の幸せ」が最優先されるべきであると考えます。

今後、取り組もうとされる「新庁舎整備事業」「周辺道路整備事業」「学校適正化事業」「花咲寮整備事業」等を見据えると100億円を超える途方もない事業費を集中的に要し、財政に負担を強いるのは明らかであります。

また、当市の財政状況は、監査委員による決算審査意見書にも、「経常収支比率は大きく押し上がり前年度と比較すると2.1%悪化の99.0%となっている。また、普通建設事業費は平成27年度から飛躍的に増えており、それに伴い地方債残高が増加に転じ元金償還額が増加している。」とあります。

経常収支比率は、硬直化の一途をたどり、財政構造は弾力性を失い、年度ごとの公債費は償還の平準化、返済の先送りという工夫をし、収支の枠内に収まりつつも、実質公債費比率は上昇傾向にあり、将来の地方交付税の減額などを考えるとき、市民の皆様のための教育や福祉事業に支障を来す不安があります。

私たち議員は、理事者とともに「子育てを充実し、住んで良かったと思える魅力あるまちづくり」に取り組む責務があります。

今後において、なお一層厳しい財政状況が想定されるなか、事業を分散し、計画的で効率的かつ効果的な行財政運営を推進し、行政課題の解決、市民生活の向上と福祉の増進等、確かな未来へ向けた健全な財政運営を求めるものであります。

以上決議します。

平成30年9月26日

五條市議会

議長交際費をお知らせします

議長交際費は、議長が五條市議会を代表して、議会運営上、特に必要と認める場合に予算の範囲内で支出する経費です。

支出にあたっては、社会通念上妥当と認められる範囲で、必要最小限になるよう努めています。

平成30年度の上半期（4月～9月）の支出状況は、次のとおりです。

☆折衝接遇経費	
2件	10,000円
☆儀礼的経費	
7件	75,000円
☆賛助的経費	
3件	37,140円
☆その他経費	
1件	5,280円
合計	
13件	127,420円

議会運営委員会視察 in 流山市 町田市 宇都宮市

議会運営委員会は、7月3日から5日に、千葉県・東京都及び栃木県で視察研修を行いました。

3日には、「母になるなら、流山」を推し進めている流山市を訪問。子育て世代の転入者が増え、働き盛りの人口増加を達成した流山市のシティプロモーション活動について研修を受け、人口増には母子への利便性や良質な住環境、ブランド戦略が重要ななどの説明を受けました。翌4日は、市町村として全国で初めて複式簿記、発生主義の考え方を加えた新公会計制度を導入した町田市を訪問、議会改革の取組及び新公会計制度の議会活用について研修を行いました。

5日には、宇都宮市の道の駅「うつのみや ろまんちつく村」を指定管理者として管理している地域商社の（株）フアー・マーズ・フォレストを訪問、他団体が運営していた「ろまんちつく村」を年間140万人が訪れる人気の観光スポットに変貌させ、地元を丸ごとプロデュースするビジネスを実施、地域商社として注目を集める同社代表取締役松本謙氏による研修を受け、物や心を動かすには、ストーリー性、エンターテインメント性が必要との説明を受けました。

今回の3市の視察研修で得た成果を今後の議会運営に生かすべく活動を続けてまいります。



(ろまんちつく村)

新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会視察 in 紀の川市 葛城市

新庁舎建設及び周辺道路整備特別委員会では、8月13日に、和歌山県紀の川市、奈良県葛城市で議場の会議システムの視察を行いました。

最初に訪れた紀の川市では、五條市と同じ設計業者が手がけ平成25年に完成した新庁舎で、議場や委員会室のシステムの説明を受けました。定例会や臨時会のインターネット配信は行っておらず、庁内でモニター放映を行っています。

次に訪れた葛城市では、昨年に議会の会議システムが改修されており、操作の実演により会議中の画像の様子を見学しました。新システムとなり、インターネットで定例会や一部を除く委員会のライブ中継や録画配信を行っています。

今回の2市の視察を基に、五條市での議会システムをどのようにするか、更に検討してまいります。

奈良県広域消防組合

議会の報告（概要）

7月20日午後から、奈良県広域消防組合消防本部本議場で開催された、平成30年第1回奈良県広域消防組合議会第1回臨時会の概要を報告いたします。

会議ではまず、臨時議長による正副議長の選挙が行われ、指名推薦により議長には桜井市の札辻輝巳議員、副議長には五條市の養田全康議員が指名されました。

次に、定期監査の結果に関する報告並びに例月出納検査の結果報告が監査委員からあり、続いて管理者からの行政報告がありました。議案審議では、水槽付消防ポンプ自動車・救助工作車等の購入など財産取得8議案について、慎重審議を経て原案どおり可決されました。

最後に、監査委員に識見を有する者として梅崎浩充氏が、議会選出として大和郡山市の村田俊太郎議員が選任同意され、本臨時会は閉会いたしました。

編集後記

日に日に秋も深まり、芸術や音楽を楽しむ最適な季節となっております。

シダーアリーナが新たな文化やスポーツの拠点となるべく開館してから早2年が経過し、最近では、奈良県大芸術祭のオープニングフェスティバルや第1回となる柔道大会、シダースーパーカップが開催され、来年4月には大相撲の地方巡業が開催される予定です。こうしたイベントを通じて交流が深まることで、まちも活性化し、五條市への関心、そして更なる集客につなげていきたいと思っております。

我々議員も、今まで以上に地域の活性化となる政策の提案に努めてまいります。今回の議会の定例会は、12月です。我々の生の声を聞いていただきたく、議場にも是非お越しください。

議会広報編集委員会

- 委員長 伊谷 賢司
- 副委員長 岩本 孝
- 委員 山口 耕司
- 吉田 正
- 養田 全康
- 平岡 清司
- 窪 佳秀
- 〃 (議長)
- 〃 (副議長)